

倉庫業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9～10	バースにて荷受後、パレットの商品を確認しようと身を乗り出したところバランスを崩し、プラットホームより落下した。	46～299	100
1	6～7	当営業所構内にて、自社トラックへの積込作業中、荷台の運転手を手伝っていたところ、後部パワーゲート上で別の荷につまずきバランスをくずし、倒れそうになったので飛び降りた際に、左足踵を強打し、骨折した。	65	—
1	14～15	1F商品の保管している棚の上から脚立に乗って商品を取り出す時に、足を踏み外して1M位の高さから落下し、左足の甲を負傷した。	63	1～9
1	9～10	事務所内で業務中、書類ケースに日焼け防止の紙を貼るため、フォークリフトで揚げた高さ140cmのパレット上で、上部をテープ止めし次にしゃがんで下部を止め、立ち上がろうとしたときにバランスを崩して転落し、肩・頭・背中順に落ち、頭部を打撲負傷した。	79	30～49
1	14～15	倉庫2Fからの階段部分において、2階置場に置いていた6tヒッパラ、約25kgを階段を使って降ろそうとした際、階段の一番上部で足をすべらせ、ヒッパラとともに落下してしまった。転落時に打撲と擦り傷を負うとともに、最下段で、正面にある壁にぶつかりとまるが、ともに落ちてきたヒッパラが重なるような状態になったため、膝と足指を負傷したものと思われる。	61	—
3	17～18	商品在庫棚重量ラック3段目（高さ約1m70cm）のパレットに保管された商品を確認するため、脚立（高さ60cm）に乗り確認するが奥の商品が見つらく。とっさに3段目パレットによじ登り確認作業をした。確認後、重量ラック3段目から降りるた	51	100～299

		めパレットに手をかけながら脚立に足をかけた際に負傷した。		
3	12~13	重量ラック3段目の商品の在庫調査中、奥に積まれている商品把握で安全ベルトを一時的に外して作業した。数量をカウントし戻る際、右足をパレットについて左足を出した時、踏み外してしまい、そのまま左足からくずれの様に下に落下した。	57	100 ~ 299
3	21~22	トラックバースに積まれていた荷物を数えることに集中し、足元を確認しておらず、荷物の方向を向いたまま後退した時に、トラックベースから足を踏み外し約1.5メートル下に転落し、トラックバースの角に左脇腹があたり骨折した。	57	100 ~ 299
5	13~14	派遣先構内作業場において、派遣社員の作業員が荷をトラック（コンテナ）に積み込んだ後、その荷台（1m位の高さ）から飛び下りた際にバランスを崩してアスファルトの地面に落下した。その際に右足を地面に打ちつけて靭帯を損傷し、左手を捻挫（軽傷）した。	34	1~ 9
5	23~24	倉庫1階にて商品をピッキング中に、生樽7Lを手を滑らせて右足の先の部分に落とってしまう。安全靴の着用を義務付けしているにもかかわらず、着用していなかった為、右足親指を骨折した。	52	30 ~ 49
6	15~16	4Fでフォークリフト荷役作業中、降車する時に足を捻ってしまい、バランスを崩し、咄嗟に左手を出して手の平で着地した。その際、左足首捻挫、右手首打撲をした。	47	500 ~ 999
7	10~11	当社作業所に於いて海上コンテナから荷物の取り出し作業中、階段状に積荷されている最上部にあるダンボール箱（50cm×60×90 約18kg）に入った商品（ハンガー）を取りに行き、商品を持って床に降りようとしたところ、積荷されていた最下部の商品が移動していたのに気付かず、足を踏み外し転倒する。その際、左手を床につき、捻ってしまい負傷したもの。	38	1~ 9
7	18~19	製品倉庫内でフォークリフトを使用して製品の積み込み運搬作業中、保管ラック上段への積み込み後、フォークリフトのマストを下げ忘れ、上死点まで上昇した状態でバック走行をしていた時、倉庫天井の鴨居にマストが衝突。その衝撃でフォークリフトが前方に倒れ、その反動でオペレーターがバック走行していた方向に投げ出され、倉庫床面に背中と左肘を強打した。	55	1~ 9

7	18~19	2段式の脚立に登り、5段ラック最上段の小箱商品を持ち降りる際、1段目の踏みざんから足を踏み外し転落。転倒した際に右手を負傷した。	51	100 ~ 299
7	18~19	弊社社屋内倉庫にて、ピッカーを使用してピッキング作業中、ネステナーの3段目の商品を取ろうとした際に、当該ネステナーの前に別のピッカーが止めてあったので取ることができなかった。そのまま移動して商品を取ろうとし、安全帯を外してピッカーからネステナーに移ろうとした際に、足を踏み外してバランスを崩し、床面（H2.8m）に落下した。その際に左大腿部・頸椎・右手親指を負傷した。	64	50 ~ 99
9	10~11	サイロ下部ホッパー内を2名で上部（指揮者）と下部（被災者）に分かれ、清掃作業を行っていた。被災者はサイロ下部ホッパー内で、燻蒸用配管を背に両足をホッパー内壁に置き、バランスを保ちながら付着している飼料のかき出し清掃作業を行っていた。作業指揮者は被災者上部のカバーの上に足場板を掛け同様の清掃作業を行っていた。飼料崩落があり、被災者は何らかの原因でホッパー下部へ落下した。指揮者が下に降りて確認した所、被災者はすり鉢状のホッパー下部に下半身が滑落していた、そのためホッパー下部を塞ぐ形となり、飼料が下に流れない状態となっていた為、飼料が積もり埋もれた。	24	10 ~ 29
9	17~18	トラック荷台上で、左サイドをよじ登りルーフスイッチを操作しようとした時、片手がすべり足を踏みはずし、約170cmの高さから地面に落下、左側骨盤付近を強打した。	38	100 ~ 299
10	10~11	2段式ハンガーラックのロケーション表示の取り付け作業をする際、脚立がなかったためキャスター付きの椅子を代わりに使用し、バランスを崩して左半身から倒れ負傷。	59	500 ~ 999
10	6~7	2階で業務を終え退勤後帰宅に3階から1階に下りる途中1階の階段で足を踏み外し右足首を捻る。	45	100 ~ 299
10	10~11	当社構内において、搬入されて来たドラム缶に不具合を見つけ、ドラム缶（60×90cm）の上で不具合の補正をし、降りる際にバランスを崩し落下、腰を打撲した。股関節にヒビが入った。	69	10 ~ 29

10	16～ 17	工場新館1階の庫内で荷物にシールを貼る作業中、パレットの鉄枠によじ登ったところ、足を踏み外して落下し、左足踵を負傷した。	21	30 ～ 49
10	1～2	冷凍自動倉庫内でラック上の商品の位置を手直しし、足場を移動しようとした際、足を滑らせ約50cmの高さから落下し、左下腿前面を架台にぶつけ挫創した。	25	50 ～ 99
11	12～ 13	貨物を検品のため、3mの高所から転落した。	67	50 ～ 99
11	15～ 16	出荷作業中にフォークリフトの左側車輪前部に乗っかり、商品を取り、パレットに積もうとしたところ足を滑らせ、地面に足をついた時に挫いてしまった。	47	1～ 9
11	17～ 18	倉庫内の検品・修理場でのレイアウト変更、季節変動等による照度不足があった為、照明器具の模様替え、移動、追加の作業を行う際、6尺脚立（天板高170cm）を使用し作業をしている最中、誤ってバランスを崩し、約1.4mの高さからコンクリート地面に落下した。体勢が悪い状態で落下した為、上手く受け身が取れず、腰と顔面を強打した。顔面からの流血や、頭を強く打っている可能性があった為、即座に救急搬送の手配を行った。	49	10 ～ 29
11	13～ 14	枠パレット上部の商品を取るため、1段目のパレットに足を掛けた際、足を滑らせ背中から転倒した。	59	10 ～ 29
12	10～11	被災者は、当社倉庫前にて、トラックより降ろした荷物を自分の足元付近に置いていた。その荷物が強風により崩れそうになったので押さえようと屈んだところ、強風にあおられたトラック後部扉が急に開いてきて、扉の金具の部分が被災者の頭部に当たり、ケガをした。	45	—
12	18～19	3F保管場でピッキング作業をしている時に、棚の2段目を取ろうとしてバランスをくずし、脚立から転落し、腰を強打し骨折してしまった。	60	10 ～ 29

12	15~16	1期棟2Fから1Fにいたる階段の掃除を行っているときに、後ろ向きで踊り場をモップで拭いていて、後方に段差があることに気付かず足を踏み外し、階段から転げ落ちて手を負傷した。	59	300 ~ 499
12	16~17	倉庫にて、出荷パレットが置かれた状態で高床式（高さ1m）の接車バースから足を踏み外し、ホーム下に右足から落下し、右膝の関節2本を骨折した。	53	10 ~ 29
12	16~17	冷蔵倉庫内で荷物出庫準備作業をしている際に、3段目にあるパレットを抱えたとき、荷物が隣の荷物に接触していたため、その荷物を直そうとした。その際、リフトのヘッドガード側から登ろうとして、途中でバランスを崩し転落した。	20	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html